

● 寄稿2

特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)及び特許庁・INPITが提供する特許情報検索サービスに関して

審査第二部 自動制御 審査官 (前 総務部 総務課 情報技術統括室 室長補佐)

鎌田 哲生

はじめに

本稿では、(独)工業所有権情報・研修館が提供する「特許情報プラットフォーム」(J-PlatPat)について、及びJ-PlatPatの近年リリースされた機能追加・機能改善並びに今後予定される機能改善・機能拡充について紹介し、さらに特許庁及びINPITが提供する特許情報検索サービスについても紹介する。

1. はじめに

皆さんは、仕事柄特許文献(特許情報)の検索を行うことが多いと思いますが、さてどうやって探していますか? もちろん、仕事で検索を行う場合は、庁内の検索システムを用いて検索することになると思います。では、国内で最も多くのユーザーが使っている特許情報検索システムは何かというと、(独)工業所有権情報・研修館(INPIT)が提供している特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)です。本稿では、J-PlatPatを皆さんにご紹介するとともに、近年の機能改善・機能追加、及び今後予定される機能改善・機能拡充についてご紹介し、さらに特許庁及びINPITが提供する特許情報検索サービスについてもご紹介します。なお、本稿の内容は筆者の個人的見解を示すものであり、特許庁の見解を示すものではありません。できる限り正確に書くことに努めました。本稿における内容や見解の誤りがある場合はご容赦ください。

2. 特許情報検索サービス¹⁾について

昔は、紙で出願書類を受け付け、その書類から、

紙で公報を発行していましたが、平成2年から、特許庁では、電子データによる出願(電子出願)を開始し、平成5年から公開特許公報は電子データをCD-ROMにより発行しています。特許公報、実用新案公報は平成6年から、意匠公報、商標公報は平成12年からCD-ROMによる発行になりました。その後技術革新により、現在はインターネットを通じて電子データで公報を発行しています²⁾。

公報が電子化されたこと、また、1990年代後半には、インターネットも普及しつつあり、特許庁では、より広く、簡単に産業財産権の公報の情報である産業財産権情報の利用を促進するため、まずは、公開特許公報の英文抄録であるPAJ(Patent Abstract of Japan)のインターネットサービスを1997年4月に提供しました。その後、1998年4月には公開特許公報のフロントページ及びPAJの検索サービスを提供しました。その後、1999年3月には特許庁ホームページで公報情報の検索、経過情報(審査・審判等の記録)の照会が行える特許電子図書館(Industrial Property Digital Library, IPDL)の検索サービスを開始しました。IPDLは当初、各種産業財産権公報の番号照会、特許公報のテキスト検索、FI,Fターム検索(特実)、商標出願・登録情報、Dターム検索

1) 本稿における「特許情報」とは、特許・実用新案・意匠・商標の産業財産権情報を総称しています。

2) 特許庁インターネット利用による公報発行サイト <https://www.publication.jpo.go.jp/index.action>

(意匠)、経過情報(特実意商)等の照会ができましたが、図形商標検索サービス(2000年3月)、意匠公報テキスト検索サービス(2002年9月)、特許の審査書類情報の照会(2006年3月)、等、徐々に機能を充実させてきました³⁾。なお、IPDLの運営は2004年10月にINPITへ移管されています。

3. J-PlatPatについて

J-PlatPat(ジェイ・プラット・パット)は、正式名称を特許情報プラットフォームといいます。英語名称がJapan Platform for Patent Informationで略称がJ-PlatPatです。この略称はユーザーの方が「ぷらっと」寄って、情報を「ぱっと」見つけれられるユーザーフレンドリーなサービスを目指すべく命名されたそうです。J-PlatPatは、高度化、多様化するユーザーニーズに応えるべく、2015年3月に「特許電子図書館(IPDL)」を刷新したものです。国内で発行された特許・実用新案・意匠・商標の公報類に加え、主要国(欧米)で発行された公報や、審査・登録・審判に関する経過情報の確認が可能となっています。J-PlatPatは、インターネットで無料で利用できる、国内最大級の技術情報データベースであり、

特許、実用新案、意匠、商標の国内外の公報等約1億3000万件を収録しています。また、審査、登録、審判に関する経過情報(審査官と出願人とのやり取りの情報)等も蓄積しています。さらに、直感的に使いやすい簡易なユーザーインターフェイスを採用し、初心者向けサービスを充実化しています。利用回数は年間1億回を超えており、我が国において、誰でも無料で利用できる特許情報提供サービスとして定着しています⁴⁾。

4. 近年の機能改善・機能追加について

J-PlatPatは、ユーザーの要望そのほかで、毎年より使いやすく、より使っていただくための機能改善・機能追加を重ねています。近年の内容は以下の通りです。

まず、2016年7月には、主要五庁(日米欧中韓)の出願に加えてPCT国際出願等の出願・審査関連情報(ドシエ情報)を、世界で初めて一括して参照できるサービスを、J-PlatPatから提供開始しました。さらに、特許庁は、WIPOとの協力の下、ドシエ情報の共有を進め、参照可能国は年々増加し、2019年3月現在では日米欧中韓の五庁に加え、

特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)

▷J-PlatPatは、インターネットで無料で利用できる、国内最大級の技術情報DB。



- ◆特許情報がより簡便に利用される環境を整備するため、平成11年に特許電子図書館(IPDL)サービスを開始。多様化するユーザーニーズに応えるべく平成27年3月にJ-PlatPatとしてリニューアル。
- ◆特許、実用新案、意匠、商標の国内外の公報等約1億3000万件を文献番号、キーワード等により検索することが可能。
- ◆直感的に使いやすい簡易なユーザーインターフェイスを採用し、初心者にも簡単に使えるサービスを提供。
- ◆利用回数は年間1億回を超えており、我が国において、誰でも無料で利用できる特許情報提供サービスとして定着。

- ・「J-PlatPat」で、「ジェイ・プラット・パット」と読みます。
- ・ユーザーの方が「ぷらっと」寄って、情報を「ぱっと」見つけれられるユーザーフレンドリーなサービスを目指すべく命名されました。

〈特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)〉
<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>
(サービス提供時間：原則、土・日も含め24時間稼働)

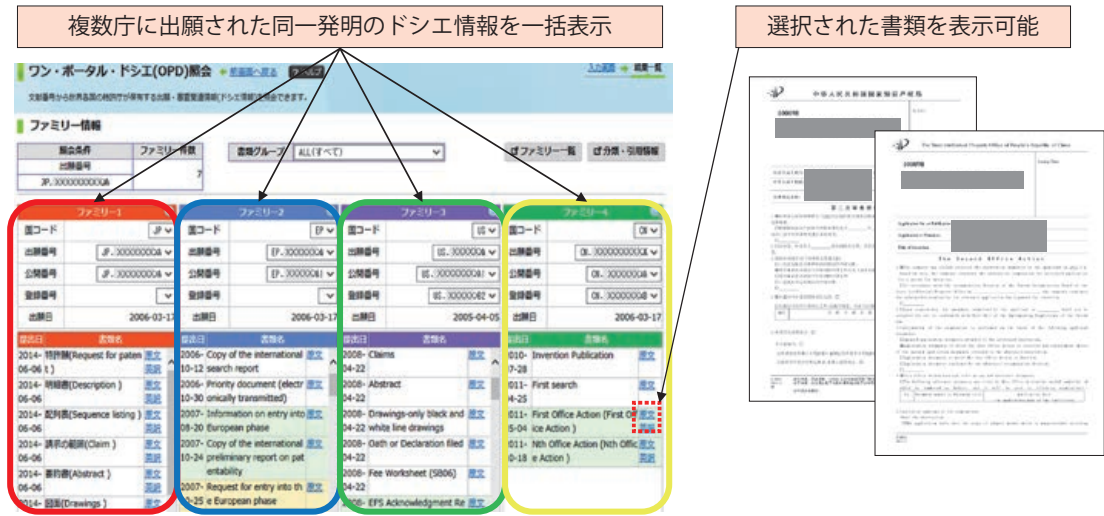


3) 詳しくは、特許庁ホームページ「産業財産権制度125年記念誌～産業財産権制度この15年の歩み～第6章第4節 産業財産権制度の提供・普及」に詳しいサービス拡充の詳細が記載されています。 https://www.jpo.go.jp/introduction/rekishi/125th_kinenshi.html

4) J-PlatPat ホームページ <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/web/all/top/BTmTopPage>

ワン・ポータル・ドシエ (OPD) 照会画面

▷五庁の出願に加えてPCT国際出願等の出願・審査関連情報(ドシエ情報)を、世界で初めて一括して参照できるサービスを、特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)から提供開始(2016年7月)。



WIPO (PCT)、オーストラリア、カナダ、インドのドシエ情報が参照可能です。

また、2018年3月には、検索機能を特許審査システムと共通化し、以下の機能改善・機能追加を行いました⁵⁾。

- (1) 特許分類とキーワードを掛け合わせた検索
- (2) 近傍検索
- (3) 外国特許公報(米国・欧州・国際出願)の英文テキスト検索

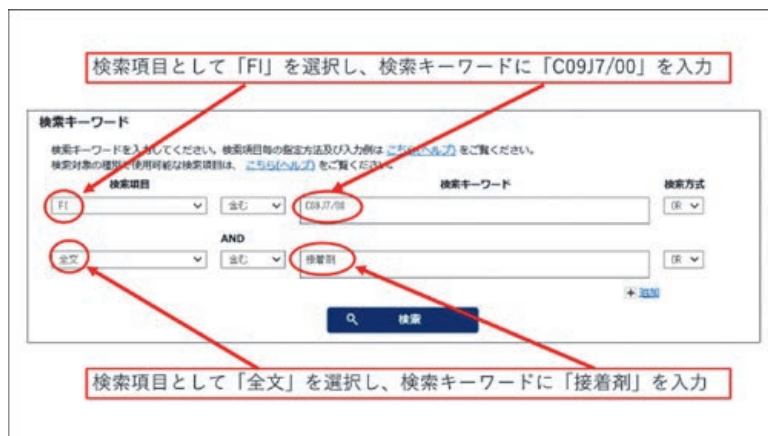
(4) 国内の公開特許公報等のテキスト検索が可能な期間の拡大

(5) 検索結果表示件数の上限拡大

それぞれの機能は以下の通りです。

4. (1) 特許分類とキーワードを掛け合わせた検索

FI/Fタームとキーワードとの掛け合わせによる検索や、Fタームのテーマコードを指定したうえでキーワードによる検索が可能となります。

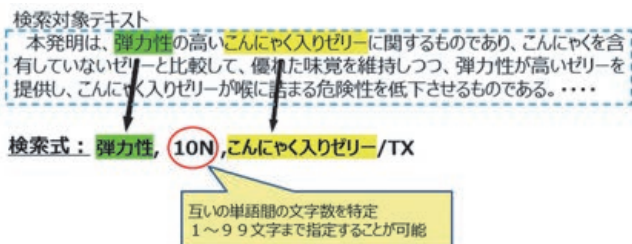


例：FIとして「C09J7/00」、キーワードとして「接着剤」を掛け合わせて検索する場合の画面イメージ

5) 経済産業省ホームページ「特許審査官が用いる検索機能が利用可能になります～特許情報プラットフォーム (J-PlatPat) の新機能について～」<https://www.meti.go.jp/press/2017/03/20180309003/20180309003.html>

4. (2) 近傍検索

互いに近接する2~3単語の対象語を含む日本語文献を検索することが容易となります。例えば、食品分野の先行技術調査において、「弾力性」と「こんにゃく入りゼリー」とが10文字以内に近接して記載されている特許文献を、検索式「弾力性, 10N, こんにゃく入りゼリー/TX」で検索することができます。



4. (3) 外国特許公報（米国・欧州・国際出願）の英文テキスト検索

これまでは公報番号で検索可能でしたが、このたび、外国特許公報を英文テキストにより検索できるようになります。検索可能となる文献の蓄積範囲は以下のとおりです。

- ▷米国 1978年12月発行分～
- ▷欧州 1978年12月発行分～
- ▷国際出願 1978年10月発行分～

これにより、約1500万件の外国特許公報（米国・欧州・国際出願）が、新たに英文テキストにより検索できるようになります。

4. (4) 国内の公開特許公報等のテキスト検索が可能な期間の拡大

これまでは1993年以降に電子化された国内公報

（約1300万件）の検索が可能でしたが、このたび、1971年以降に発行された電子化前の公報（約1000万件）を、新たにテキストで検索できるようになります。

これにより、合計約2300万件の国内公報が、テキスト検索可能となります。

4. (5) 検索結果表示件数の上限拡大

現状1000件の上限を3000件に拡大します。

これにより、今までと比べて、検索機能が充実し、より正確で効率的な先行技術調査が可能となりました。

5. 今後の機能改善・機能拡充の予定に関して

J-PlatPatは更に使いやすく、迅速な情報提供をめざし、今後は、以下の機能改善・機能拡充を予定しています⁶⁾。

- (1) 経過情報のタイムラグの改善
- (2) 提供される書類の範囲の拡充
- (3) 検索対象の拡充
- (4) 機械翻訳の改善
- (5) 使いやすさの改善

5. (1) 経過情報のタイムラグの改善

これまでの特許情報プラットフォームでは、特許庁で書類が発出されてから約3週間後に審査・審判経過情報が参照可能となっております。

機能改善に伴い、原則、特許庁で書類が発出された翌日に審査・審判経過情報が反映されます。

審査記録	特許願	差出日(平25.6.26) 受付日(平25.6.26) 作成日(平25.6.27)
	世界的所有権機関へのアクセスコード付与請求書	差出日(平26.5.2) 受付日(平26.5.2) 作成日(平26.5.3)
	優先権証明請求(電子データ交換協定)	差出日(平26.7.15) 受付日(平26.7.15) (IBIB) 作成日(平26.7.17)
	優先権証明応答(電子データ交換協定)	差出日(平26.7.15) 受付日(平26.7.16) (IBIB) 作成日(平26.7.17)
	出願審査請求書	差出日(平27.12.15) 受付日(平27.12.15) 作成日(平27.12.15)
	手続補正書	差出日(平27.12.21) 受付日(平27.12.21) 作成日(平27.12.21)
	拒絶理由通知書	起案日(平29.2.10) 発送日(平29.2.21) 拒絶理由条文コード(22 第29条第1項等) 作成日(平29.2.21)
	意見書	差出日(平29.4.24) 受付日(平29.4.24) 作成日(平29.4.24)
	手続補正書	差出日(平29.4.24) 受付日(平29.4.24) 作成日(平29.4.24)
	特許査定	起案日(平29.8.30) 発送日(平29.9.5) 作成日(平29.9.5)
	登録料納付	差出日(平29.10.5) 受付日(平29.10.5) 作成日(平29.10.12)

現在のJ-PlatPatの経過情報の提供イメージ

6) 特許庁ホームページ「特許情報プラットフォームの機能改善について」 https://www.jpo.go.jp/support/j_platpat/kaizen.html

5. (2) 提供される書類の範囲拡充

これまでの特許情報プラットフォームでは、審査段階の書類は、特許実用新案のみ確認することができ、意匠・商標における審査段階の書類の内容を確認することができませんでした。また、審判段階の書類の内容の照会は、特許・実用新案の審決、決定等に限られていました。

機能改善に伴い、意匠の審査段階、商標の審査段階、及び、四法の審判段階における書類として、例えば、拒絶理由通知書、意見書、手続補正書、面接記録、応対記録等、多くの書類の内容が新たに照会可能になります。

※意匠・商標の審査段階やこれらの審判段階における書類は、2019年1月以降の書類が照会対象になります⁷⁾。なお、意匠については登録になった案件の書類が照会対象になります。

5. (3) 検索対象の拡充

これまで、特許・実用新案において、中国公報や韓国公報（以下、「中韓文献」）の検索は、中韓文献翻訳・検索システムにより提供されていました。今後、中韓文献の翻訳データが特許情報プラットフォームに移行されることになり、「特許・実用新案検索」メニューから日本語により検索可能となります。

また、商標においては、権利が消滅した商標も含めて検索対象とし、検索結果画面に権利の存続状況もあわせて表示します。

5. (4) 機械翻訳の改善

これまでの特許情報プラットフォームでは、日本公報情報及び日本審査書類情報の英語翻訳にルールベースの機械翻訳を用いていました。今後、特許情報プラットフォームは機械翻訳エンジンを刷新し、ニューラル機械翻訳等による訳質が向上した英語翻訳を提供します。

また、今後、中韓文献についてもルールベースの

機械翻訳から、同様にニューラル機械翻訳等へと切り替えていく予定です。

5. (5) 使いやすさの改善

以下の機能が追加・改善されます。

キーワード、文献番号による、四法（特許・実用新案・意匠・商標）での横断的な検索⁸⁾が可能になります。

検索結果が上限を超えた場合に自動絞込⁹⁾を行います。

検索結果のリスト表示で検索項目毎のソートが可能になります。

単一図面の拡大操作、回転操作等が可能になります。

HTML5の機能をご利用いただくことで検索式の再利用が可能になります。

意匠図面の複数表示が可能になります。

日本意匠分類についてキーワード等で簡単に調べることが可能になります。

6. J-PlatPat 以外に特許庁・INPIT で提供している特許情報サービス

これまで、J-PlatPat について説明してきましたが、特許庁・INPIT では他にも特許情報検索サービスを提供していますのでご紹介いたします。

6. (1) 外国特許情報サービス (FOPISE)¹⁰⁾

知財活動のグローバル化に伴い、五大特許庁の特許情報のみでなく、例えば、ASEAN 諸国の特許情報に対する関心が高まっており、海外特許庁より入手した特許情報をユーザーに迅速に提供するための検索サービス「外国特許情報サービス（英語名：Foreign Patent Information Service、略称：FOPISE）」を2015年8月より開始しました。

FOPISE では、J-PlatPat で照会できない諸外国、例えば、ロシア、オーストラリア、シンガポール、

7) 特許庁ホームページ「意匠・商標の審査・審判書類がJ-PlatPatで照会可能となります」 https://www.jpo.go.jp/support/j_platpat/tokkyo_platform_181129.html

8) 検索結果は、文献種別毎にタブに分けて表示します。

9) 日付で自動絞込を行い、日付の新しいものから検索結果の上限までをリスト表示します。

10) FOPISE ホームページ：<https://www.foreignsearch.jpo.go.jp/menu.php>

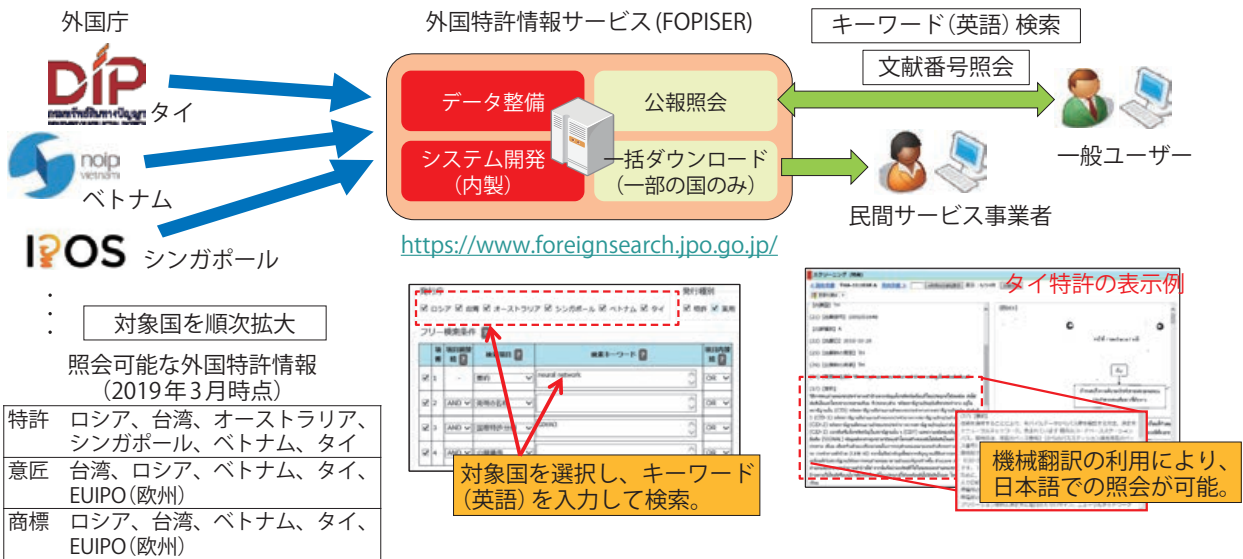
ベトナム、タイ等の文献について、日本語のユーザーインターフェイスを通じて、文献番号、分類情報、キーワード（英語）等により簡易検索をすることが

可能です。

また、これらの文献は機械翻訳により日本語で照会することが可能です。

外国特許情報サービス (FOPISER)

- ▷外国庁と交渉し、ユーザーニーズの強いASEAN等の新興国の特許情報を収集
- ▷収集した外国特許情報を、日本語ユーザーインターフェイスにより提供する外国特許情報サービス(FOPISER)を2015年8月より開始。
- ▷文献番号による照会、キーワード(英語)・分類による簡易検索が可能。また、機械翻訳の利用により日本語で照会が可能。
- ▷提供する対象国、文献種別、文献範囲は順次、拡大予定。



FOPISER トップページ

The screenshot shows the FOPISER homepage with the following menu items:

- 書誌情報検索(特実)**
ロシア・台湾・オーストラリア・シンガポール・ベトナム・タイの特実公報を、IPCやキーワード(英語)で検索することができます。
- 公報番号索引照会(特実)**
公報番号でロシア・台湾・オーストラリア・シンガポール・ベトナム・タイの特実公報を照会することができます。 [検索可能範囲参照](#) ?
- 出願番号索引照会(意匠)**
出願番号でロシア・台湾の意匠公報を照会することができます。 [検索可能範囲参照](#) ?
- 出願番号索引照会(商標)**
出願番号・登録番号でロシア・台湾・欧州連合知的財産庁 (EUIPO) ・ベトナム・タイの商標情報を照会することができます。 [検索可能範囲参照](#) ?

FOPISER 検索画面 / 検索結果

特許庁 書誌情報検索(特実) サービス稼働時間 開庁日 9:00~20:00 検索可能範囲 ヘルプ メニューに戻る

1. 検索対象、検索年範囲を入力・選択

発行庁: ロシア 台湾 オーストラリア シンガポール ベトナム タイ

発行種別: 特許 実用 公開 登録

文献種別: 公開 登録

公知日: [] ~ []

出願日: [] ~ []

2. 検索式を入力・選択

フリー検索条件

項目	項目内検索	検索項目	検索キーワード	項目内検索
<input checked="" type="checkbox"/>	1	要約	TOILET	OR
<input checked="" type="checkbox"/>	2	AND	発明の名称	OR
<input checked="" type="checkbox"/>	3	AND	国際特許分類	OR
<input checked="" type="checkbox"/>	4	AND	公開番号	OR

NOT検索条件

項目	項目内検索	検索項目	検索キーワード	項目内検索
<input checked="" type="checkbox"/>	1	要約		OR
<input checked="" type="checkbox"/>	2	AND	発明の名称	OR
<input checked="" type="checkbox"/>	3	AND	国際特許分類	OR
<input checked="" type="checkbox"/>	4	AND	公開番号	OR

3. 検索ボタンを押下

検索 スクリーニング 検索結果一覧 初期化

4. 検索結果を表示

ヒット件数						発行種別	文献種別	公知日		出願日		フリー検索条件
RU	TW	AU	SG	VN	TH			From	To	From	To	
158	285	330	14	45	83	特実	公登					要約: TOILET タイトル: TOILET

FOPISER スクリーニング画面

スクリーニング (特実)

原文: TW508398 (B) — 2002-11-01

原文イメージ 言語を選択

スクリーニング (特実)

原文イメージ 日本語

日本語を選択

日本語で参照可能

スクリーニング表示

第1図

10 16(16a) 16(16b) 12

13 18 51 50 53 47 49

2 3

TS S2 RS

10 43 16(16a)

6. (2) 画像意匠公報検索支援ツール (Graphic Image Park) ¹¹⁾

Graphic Image Parkは、イメージマッチング技術を利用した意匠の検索支援ツールです。この支援ツールにより、我が国で意匠登録を受けた、機器の操作画像等のデザインを、利用者が任意に指定したデザインと形状や色彩の要素に近い順に並べ替え、効率的に照会することが可能です。簡単な操作で照会できます。

7. 終わりに

以上、特許庁・INPITが提供する特許情報サービスを紹介してきましたが、説明だけではなかなか伝わりにくい部分もあると思いますので、ぜひ各サイトにアクセスして使ってみてください。

末筆ながら、情報技術統括室時代お世話になった皆様から心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

画像意匠公報検索支援ツール (Graphic Image Park)

- ▷2015年10月1日より、イメージマッチング技術を利用した**画像意匠公報検索支援ツール (Graphic Image Park)** のサービス提供を開始。
- ▷この支援ツールにより、我が国で**意匠登録を受けた、機器の操作画像等のデザイン**を、利用者が任意に指定したデザインと形状や色彩の要素に近い順に並べ替え、効率的に検索することが可能。
- ▷操作は簡単。①イメージファイルを入力→②サムネイルの一覧を表示→③意匠公報を表示



profile

鎌田 哲生 (かまだ てつお)

2008年 特許庁入庁 (特許審査第二部一般機械 (制動・機械要素))
2011年 審査官昇任
2013年 総務部総務課 業務係長
2014年 経済産業省産業技術環境局産業技術政策課 (現: 総務課) 総括係長
2015年 審査第二部一般機械 (制動・機械要素) 審査官
2017年 総務部総務課情報技術統括室 室長補佐
2018年 審査第二部自動制御 審査官 (現職)

11) Graphic Image Park ホームページ <https://www.graphic-image.inpit.go.jp/>